



NIPPON BEARING

10月27日付 日本経済新聞広告 解答と解説

【問題】日本のロケット打ち上げ予定数は、10年前の何倍？

- ① 1.2倍 ② 1.5倍 ③ 2倍

【答え】③2倍

【解説】

近年、様々なミッションを遂行するために打ち上げられているロケット。

打ち上げ数は、10年前に比べて約2倍もの数に増加しています。

※2010年～2012年：年平均2～3件，2020年～2024年：年平均4～5件を予定
上記集計数はJAXA実績のみ、民間含まず。

引用元 (c) JAXA

URL (https://www.jaxa.jp/projects/result_j.html)

(https://www.jaxa.jp/projects/in_progress_j.html)

ロケット開発が始まった当初は、ロケットが宇宙に到達すること・人類が宇宙に出ていくことが目標でした。その頃は、ロケットが高度何メートルまで達したのか、人類が宇宙空間と呼ばれる領域に到達出来るのか、その結果に一喜一憂していました。

今では、宇宙に滞在することも可能となり、宇宙という地球とは異なった環境を利用する目的のために、様々な用途の衛星や宇宙船を搭載したロケットを打ち上げています。

詳細な気象情報を得られることや、GPSを利用出来ることも、これら衛星のお陰です。

今後は、火星や木星等の惑星探査計画や、開始した民間企業の参入も増えていくことでしょう。

現在、宇宙に飛び出していくことの出来る唯一の輸送機であるロケット。

その本格的な開発の歴史は、まだ一世紀にも達しておりません。

しかし、その進化は著しく、今や宇宙開発は私たちの生活に密着したものとなっています。

新たな宇宙空間での発見が、思いがけない発展となる未来を、楽しみにしたいですね。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】